

受講生48名へ修了証を授与！

対馬地区「しま自慢」観光カレッジ

しまの活性化を担う「観光」の先導役となる人材を育成するため、昨年の10月より実施されてきた平成17年度の「対馬地区」しま自慢「観光カレッジ」の修了式が、4月19日、美津島文化会館で開かれ、所定の単位を取得した48名の受講生に県認定の修了証が授与されました。

このカレッジは、総理大臣認定の「地域再生計画」事業で、県下の離島、県、県観光連盟等で構成する「ながさき『しま自慢』観光人材育成協議会」

が主催したもので。受講者は約半年間にわたり、土曜、日曜日を中心に開催される講義に出席。観光ガイド、地域コーディネーター、ブルー・グリーンツーリズムインストラクター、商品開発クリエイター、観光リーダーの5分野で、それぞれの修了認定に必要な7〜8単位を取得し、晴れてこの日を迎えました。

峰町在住で、保険業に従事している多田憲治さん（28歳）は、全コースを修了した唯一の受講生。期間中の週末は毎週のように講義へ出席したそうです。

このカレッジで学んだことを活かし、今後の対馬の観光の発展の為に頑張りたいと話していました。
なお、このカレッジは、今年度も実施される予定です。



修了式を終えての記念撮影



学長の松村市長より、修了証を受け取る受講生



受講生を代表し、学長へ謝辞を述べる多田憲治さん

春の交通安全運動

全国一斉に展開された春の交通安全運動（4月6日〜15日）で、対馬市内においても交通安全啓発パレードや街頭キャンペーン、運転者講習会などが実施されました。

期間中には、「子どもと高齢者の事故防止、二輪車と自転車の事故防止、シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」を重点とした啓発運動が実施され、街頭キャンペーンでは道行くドライバーに交通安全母の会の会員らが、安全運転を呼びかけました。



南署管内



北署管内

自転車の運転には気をつけて

交通安全協会が市内の中学・高等学校へ啓発ビデオを配布



対馬北及び南地区交通安全協会が、自転車事故防止啓発ビデオ「まさかの未来」を、市内の3高校及びすべての中学校へ配布しました。

島内には自転車で通学している生徒も多く、事故防止に役立てられればとの思いから贈られたものです。

物語は、主人公の中学生が自転車の運転中に携帯電話を使用したことが原因で、お婆さんと衝突事故を起こして死なせてしまうといった内容のドラマ。自転車でも、乗り方によっては人の命を脅かすほどの凶器となりえることが紹介されています。

自転車の危険性を認識し、運転には十分気をつけましょう。

新入生オリエンテーションに2056名が来島
釜山外国語大学校



地元を案内した高校生と



中学生と一緒にパチリ



扇智衛会の指導のもと、対馬音頭を踊る



男女手を繋いでのフォークダンス、若者らしく照れていました



厳原市街を練り歩く学生たち

3月21日から4月5日までの期間、釜山外国語大学校による新入生オリエンテーション(説明会)が、今年も対馬で行われ、2056名の学生及び学校関係者が来島しました。

3年前から実施されているこのオリエンテーションは、一番近くの外国である対馬を訪ね、国際感覚あふれる学生になってほしいとのねらいで実施されているものです。学生達は、およそ300名ずつ7班のグループに分かれ、2泊3日の行程で対馬を訪問。厳原町内の5つのホテルや旅館に分かれて宿泊しながら、オリエンターリングや交流会、史跡訪問などの説明会プログラムに参加しました。

オリエンターリングでは、グループに分かれた学生たちが、地図を頼りに、万松院やお舟江といった厳原地区内の史跡や公共施設を巡りました。道に迷ったときは、片言の日本語や身振り手振りで気さくに地元住民とコミュニケーションをとっていました。また、厳原体育館での文化交流会では、対馬音頭やフォークダンスを踊ったり、韓国の伝統芸能の発表会などが催され、楽しそうに親睦を深めていました。

参加者の一人、フランス語学科の金珍香さん(20歳)は、「自然がすごくきれいで、人々はとても親切ですね」と対馬の印象を話してくれました。



巡視艇「はやぐも」

総トン数：100トン、長さ：32m、幅：6.5m、
竣工年月：平成11年12月
主な装備：ウォータージェット推進、13mm機銃、赤外線搜索監視装置



荒巻正晴船長(下段左から2人目)と乗組員の皆さん

巡視艇2代目「はやぐも」就役 比田勝海上保安署

比田勝海上保安署の巡視艇「はやぐも」の就役式典が、3月27日、厳原港岸壁で行われ、関係者ら約60名が参加しました。

新たに配備された2代目「はやぐも」は、耐用年数を迎え3月12日に解役となった初代「はやぐも」に代わり、石川県の七尾海上保安部の巡視艇「はまゆき」が配属替えされたものです。

初代に比べ船齢も若返り、ウォータージェット推進による高速化や、赤外線搜索監視装置による夜間監視能力が強化されるなど性能が向上しています。

式典の中で、松村信之署長は「2代目の就役により従来にも増して、海上保安業務が効果的・効率的に遂行できるものと期待しております」と話していました。

対馬で10人目の国際交流員
成修眞さん着任



対馬の皆さん、よろしくお願ひします。

市長より委嘱状を受ける成さん

退任した林さんに代わり、新たな国際交流員として成修眞さんが着任しました。

成さんは、釜山出身の25歳。釜山大学校で日本文学を専攻した後、大阪大学に1年間留学した経験を持っています。

趣味は健康のため始めたヨガ。また、山登りやウォーキングなどの運動も好き。特技は、留学の時に覚えた大阪弁。将来は同時通訳ができるようになって、日韓交流の架け橋として活躍したいそうです。

成さんは「対馬は自然がきれい。交流の発展の為、これから3年間がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします」と流暢な日本語で話していました。

国際交流員
林修眞さん退任



3年間お世話になりました。

平成15年4月に、旧巖原町の国際交流員として着任以来、約3年間にわたって活躍してきた観光交流商工課の林修眞さんが、4月9日をもって退任しました。

対馬では、国際交流事業における通訳や翻訳作業のほか、ハングル講座では講師を務めるなど、日韓交流の架け橋としての活動に励んできました。

講座生たちの語学の成長ぶりと、ホームステイ事業でのホストファミリーらとの心暖まる交流が対馬での一番の思い出。「今後も対馬での思い出を大切にしていきたいです」と話していました。

帰国後は韓国語教育を学ぶため、ソウルの大学院に進学するそうです。ご活躍をお祈りいたします。

白寿(99歳)のお祝い

3月に99歳を迎えた市内のお年寄りお2人に、対馬市から白寿のお祝いとして敬老祝い金が贈られました。



ひ孫の本郷愛乃ちゃん

息子の森谷正文さん

森谷コトさん(豊玉町曾出身)

明治40年3月24日生まれ、現在、特別養護老人ホーム「いづはら」を利用されています。長生きの秘訣は、物事を前向きに考え、感謝の気持を持つ事だそうです。

明治40年3月20日生まれ、自宅にお住まいで、最近はずいぶん歩けるようになった。お孫さんとの会話が楽しみとおっしゃっていました。



原千歳さん(上県町佐護湊)

白寿 = 「百」の字から「一」を取ると「白」になる事から、あと1歳で100歳になる99歳をこう呼びます。

人権擁護委員に 西山悦子さんが再任

市の人権擁護委員に西山悦子さん(美津島町雞知)が、再任されました。任期は、平成18年4月1日から平成21年3月31日までの3年間です。

人権擁護委員は、国民の基本的な人権の監視、救済などの処置、人権思想の普及高揚などを使命とし、地域住民の中から人格や見識が高く、人権意識に理解のある人を市長が推薦し、法務大臣より委嘱されます。

なお、対馬市には、ほかに10名の人権擁護委員さんが活躍しています。



県下の選管委員長が
集まり研究討議
長崎県下各市選挙
管理委員会の定期総会



平成18年度の長崎県下各市選挙管理委員会の定期総会が4月13日（木）、対馬市役所で開催されました。

対馬市での総会開催は今回が初めてであり、長崎県選挙管理委員会の村木委員長を来賓に迎え、各市の選挙管理委員会の委員長と事務局長が出席しました。

会議では、17年度の事業実績及び収支決算書の承認、18年度の事業計画及び収支予算等が審議された後、研究討議に入り、各市の選挙管理の実情を協議し、その後九州都市選挙管理委員会連合会への要望事項の確認を行いました。総会2日目は、研究討議後、

行政視察を行い、短時間でしたが、対馬の自然の雄大さと歴史の深さを感じたようでした。また、今回の総会で対馬市選挙管理委員会の井鷹志委員が委員歴6年以上（豊玉町からの通算による）の一般表彰を受賞しました。



表彰を受ける井鷹志委員

ケニアでの国際協力へ出発

青年海外協力隊員

中田 耕司さん



青年海外協力隊員としてアフリカのケニア国へ派遣される豊玉町曾出身の中田耕司さん（25歳）が、出国を前に市役所へ訪問しました。

派遣期間は平成18年3月からの2年間。同国のN・Y・Sヤッタ農業学校で、現地の若者に対し野菜の栽培技術の指導や講義を行います。

高校生の頃から国際協力に興味があったという中田さんは、大学を卒業後、日本農業実践学園へ入学。卒業後は、同学園の職員として2年間働き、協力隊に参加しました。

「現地の住民の目線に立って、要望に的確に応えられるような協力活動を行いたい」と決意を述べていました。慣れない異国での生活の中、体を大切に頑張ってください。

インターネットで、
棹崎公園とツシマヤマメコノ
生画像が見られます。

このほど、市のホームページを通して、棹崎公園からの韓国眺望と対馬野生生物保護センターで飼育されているツシマヤマメコの生の静止画像が見られるようになりました。利用方法は次のとおりです。



市のホームページの「観光・文化・スポーツ」欄の「ライブカメラ」をクリック



表示された「ライブカメラ」ページの「棹崎公園」または「やまねこ」をクリック



表示完了
(例：棹崎公園)

市長の動き

4月

- 3日 辞令交付、国際交流員退任式
- 6日 漁港漁場漁村の未来を考える懇談会（福岡）
- 12日 エコツアーリズム実行委員会
- 13日 対馬食フェア（大阪、東京）
- 17日 国際交流員辞令交付会、市政説明会
- 18日 美津島担い手公社理事会、市政説明会
- 19日 対馬地区「しま自慢」観光力レτζジ終了式
- 20日 区長会議（豊玉、峰）、市政説明会
- 21日 区長会議（鶏鳴小校区）
- 22日 対馬まさかりドリムス・デー
- 25日 市政説明会（厳原小校区）
- 26日 長崎県市長会（佐世保）
- 28日 区長会議（美津島、厳原）

